

鳥羽河内ダムとダムカードの概要

●鳥羽河内ダムについて

・ダムの概要

鳥羽河内ダムは、二級河川加茂川水系の鳥羽河内川に治水ダムとして建設するもので、加茂川水系の治水計画の一環をなすものです。目的は洪水調節で、大雨の時に降った雨の一部をダムにためることで、下流に流れる水を一時的に減らし、洪水被害の軽減につとめます。

ダムの諸元は下記のとおりです。

- ・形式：重力式コンクリートダム
- ・堤高（ダムの高さ）：39.0m
- ・堤頂長（ダムの長さ）：193.0m
- ・有効貯水容量（ダムに貯めることができる水の量）：2,863,000m³

●ダムカードとは

ダムのことをより知っていただこうと「ダムカード」を作成し、ダムに訪問した方に配布しています。カードの大きさや掲載する情報項目などは、全国で統一したものにしており、おもて面はダムの写真、うら面はダムの形式や貯水池の容量・ダムを建設した時の技術、といった基本的な情報からちょっとマニアックな情報までを凝縮して載せています。

（サイズ：88mm×63mm）

鳥羽河内ダム ダムカード

表面




裏面

DAM-DATA

所在地：三重県鳥羽市河内町奥河内
河川名：加茂川水系鳥羽河内川
形式：重力式コンクリートダム（流水型）
ゲート：オリフィスによる自然調節 × 1門
堤高：堤頂長：39.0m・193.0m
総貯水容量：296万m³
管理者：三重県
完成予定：2028年度

Sample

 鳥羽市は全域が伊勢志摩国立公園に指定されており、リアス海岸など美しい景観を誇る。また、世界で初めて真珠養殖に成功した地でもある。自然と歴史の宝庫であり、多彩な観光資源が集まる鳥羽市は訪れる人々を魅了する。

こだわり技術

鳥羽河内ダムは、加茂川流域の浸水被害防止・軽減を目的に建設される流水型ダムである。ダムが担う様々な役割のうち、洪水調節に特化し、洪水時のみ一時的に貯水する。平常時は貯水しないため、水循環、土砂供給など本来の自然に近い河川環境が維持される。